第12講　古代～中世（奈良時代～平安時代）

Step 1

1　次の問いに答えなさい。

(1)　701年，刑部親王・藤原不比等らにより制定された律令を何というか。

(2)　7世紀後半に朝鮮半島を統一，対立しつつも日本との交流を続けた王朝を何というか。

(3)　天武天皇の富本銭に続き，708年に元明天皇が鋳造させた貨幣とは何か。

(4)　約4500首をおさめる，わが国最古の和歌集を何というか。

(5)　奈良時代の文化を，当時の年号〔元号〕をとって何というか。

(6)　真言宗の開祖で，嵯峨天皇から教王護国寺〔東寺〕を賜り，紀伊国に高野山金剛峰（峯）寺を開いた僧とは誰か。

(7)　天皇の成人後，政治を補佐する役職を何というか。

(8)　894年，宇多天皇に遣唐使の停止を提案した人物とは誰か。

(9)　摂関政治の全盛期を現出した父子の名をそれぞれ書け。

(10)　摂関家と結び，とくに東日本で勢力を拡大した武家の一族を何というか。

(11)　平安時代に主に皇族・貴族の邸宅に用いられた建築様式を何というか。

(12)　出家した上皇のことを何というか。

Step 2

2 次の文を読んで，あとの⑴・⑵の問いに答えなさい。

国家と社会が発展するなかで，都や都市は政治や経済，文化などにおいて多くの役割をもつようになった。①平城京や②平安京は，中国の影響を受け，政治の中心となる都として計画され整備された。武士が力を強めると，鎌倉が武家政治の中心となる都市として発展した。戦国時代になると各地に城下町やさまざまな都市が形成された。江戸時代には，江戸，大阪，京都の三都を中心に各地で都市が発展するようになった。

⑴ 下線部①について，次のア～エのうち，平城京が都となったころの政治のしくみの基本となっていた法律はどれですか。一つ選び，その記号を書きなさい。

ア　大宝律令　　イ　御成敗式目（ごせいばいしきもく）　　ウ　公事方御定書（くじかたおさだめがき）　　エ　十七条の憲法

⑵ 下線部②について，次のア～エのうち，平安時代に発展した文化について述べているものはどれですか。一つ選び，その記号を書きなさい。

ア　天皇の一族や豪族に仏教が広がって寺院が造られるようになり，法隆寺が建てられた。
イ　禅宗が発展し，禅宗の寺院の建築方法を取り入れた書院造が生まれ銀閣が建てられた。
ウ　人々に浄土への信仰が広がって阿弥陀堂がさかんに造られ，平等院鳳凰堂（ほうおう）が建てられた。
エ　日蓮宗など新たな仏教の教えが広がるとともに，東大寺の再建も行われ南大門が建てられた。

【岩手県】

3　わが国の税と土地制度にかかわる次の問いに答えなさい。

①　次の文は，7世紀から8世紀にかけてのわが国の税に関することがらについて述べたものである。文中の［ⓐ］，［ⓑ］に当てはまる語をそれぞれ書きなさい。

公地公民の原則のもとで，全国の土地は国のものとされた。6歳以上の男女は，律令にもとづく班田収授によって口分田を与えられ，税や労役を負担した。このうち，口分田を与えられた人々が収穫の約3％を稲（米）で納めた税は［ⓐ］と呼ばれている。また，おもに九州北部の警備のために配置された兵士は［ⓑ］と呼ばれている。

②　律令にもとづいて政治を行うしくみは，わが国が中国から取り入れたものである。わが国は，中国の制度や文化を取り入れるため，7世紀以降，中国にたびたび使節を送った。

(a)　次のうち，7世紀以降，わが国がたびたび使節を送った中国の王朝名はどれか。ア～エから一つ選び，記号を○で囲みなさい。

ア　秦(しん)　イ　漢(かん)　ウ　唐(とう)　エ　魏(ぎ)

(b)　次のうち，7世紀から8世紀にかけての期間に起こったできごとについて述べたものとして正しいものはどれか。ア～エから一つ選び，記号を○で囲みなさい。

ア　首里(しゅり)を都とした琉球(りゅうきゅう)王国が成立した。

イ　地中海を中心にローマ帝国が成立した。

ウ　チンギス＝ハンがモンゴル帝国を築いた。

エ　新羅(しらぎ)が百済(くだら)を滅ぼし朝鮮半島を統一した。

【大阪府】

Step　3

4　次の表は，古代における主なことがらをまとめたものである。表をみて，あとの問いに答えなさい。

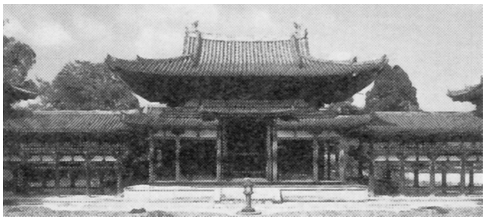
表

	政治	文化	外交・国際関係
古代	・大陸の制度を取り入れながら国家のしくみを整えた ・天皇や貴族が中心の政治が行われた	・仏教と唐の文化の影響を受けた国際的な(a)天平文化が栄えた ・日本独自の(b)国風文化が栄えた	〔　　　　　〕

(1)　(a)天平文化，(b)国風文化について，それぞれの文化を代表するものを，次のア～ウから1つずつ選び，記号を書きなさい。

ア

イ



ウ

(2)　〔　　〕の時代の外交・国際関係について，次のア～エのできごとを**年代の古い順**に並べなさい。

ア　唐に渡った最澄と空海が新しい仏教を伝えた。

イ　菅原道真の提案により，遣唐使を停止した。

ウ　中国を統一した隋へ小野妹子らを派遣した。

エ　日本が白村江で唐・新羅の連合軍に大敗した。

【富山県】

5　真也君たちのグループは，「かけ算九九と歴史」をテーマに資料Ⅰを作成し，発表のための資料を集めました。後の問いに答えなさい。

資料Ⅰ	真也君が作成した資料（一部）
世紀	かけ算「九九」に関する表記
8世紀 ↕ X 10世紀	「万葉集」に「九九」を利用した歌がみられる 貴族の子どもの教科書「口遊（くちずさみ）」に「九九」がのせられる

(1)　真也君は，資料ⅠのXのころの人々のくらしとかけ算「九九」についてまとめるために，当時の戸籍と税制に関する資料Ⅱ，Ⅲを見つけました。真也君は資料Ⅱを調べていく中で，この戸籍は男女の人数が実際と異なると考えられることを知りました。なぜ当時の人々が戸籍をいつわって登録したのか，その理由として考えられることを，資料Ⅲをもとに書きなさい。

資料Ⅱ	※阿波国（あわのくに）のある地域の戸籍（902年）
人口435人　（男子：59人　女子：376人）	

※現在の徳島県　（「延喜（えんぎ）2年阿波国戸籍」より作成）

資料Ⅲ　律令で定められた一般の人々の税負担（一部）

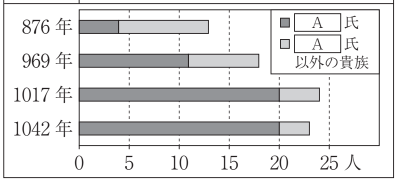
		男子		女子
		正丁（せいてい）（21〜60歳）	次丁（じてい）（老丁（ろうてい））（61〜65歳）	中男（ちゅうなん）（少丁（しょうてい））（17〜20歳）	
租	稲（収穫量の約3%）			
調	絹，糸，真綿，特産物	正丁の $\frac{1}{2}$	正丁の $\frac{1}{4}$	なし
庸（よう）	布（麻布）：労役のかわり	正丁の $\frac{1}{2}$	なし	なし
雑徭（ぞうよう）	地方での労役（年間60日以下）	正丁の $\frac{1}{2}$	正丁の $\frac{1}{4}$	なし

(2)　資料Ⅰの下線部に関して，真也君は，貴族の数に関する資料Ⅳを見つけ，次のように発表原稿にまとめました。次の［A］，［B］に入る適切な語を書きなさい。

真也君の発表原稿（一部）

資料Ⅳから，［A］氏が，他の貴族より高い地位につき勢力をのばしたことが考えられる。これは，自分の娘を天皇のきさきにし，その子を天皇にして，天皇が幼いときはその政治を代行し，成人後は天皇を補佐するという［B］政治を行ったからである。

資料Ⅳ　高い地位についた貴族の数



（「公卿補任年表（くぎょうぶにんねんぴょう）」より作成）

【宮崎県】

〈 ***Note*** 〉

第12講　古代～中世（奈良時代～平安時代）

Step 1

1　(1) 大宝律令　(2) 新羅　(3) 和同開珎　(4) 万葉集　(5) 天平文化　(6) 空海〔弘法大師〕
(7) 関白　(8) 菅原道真　(9) 藤原道長・頼通　(10) (清和)源氏　(11) 寝殿造　(12) 法皇

Step 2

2　(1) ア　(2) ウ

3　① ⓐ 租　ⓑ 防人　② (a) ウ　(b) エ

Step 3

4　(1) (a) ウ　(b) イ　(2) ウ→エ→ア→イ

5　(1) 調・庸・雑徭の負担を減らそうとしたから。(同意可)　(2) A. 藤原　B. 摂関